



# めぐニュース



かぐめよし少年自然の家だより 平成28年 9月発行

今春、京都の龍安寺に行った。目的は1つ。『蹲居』(つくばい)を見るため。かぐめよし少年自然の家にやって来た子どもくばいの絵を示しながら、『吾、唯だ、足るを、知る』とみんなで読めがその意味だと説く。つり、口をすすぎ、身を清するための器とのことは、中央に水を溜めるその周りを4つの文字



もたちに、手製のつら、『吾、唯だ、足るを。』くばいは、茶道のおめるための水を確保だが、龍安寺のそれ『口』の字が切れ、が、『口』を共有して

龍安寺では、しばし、流れる様を見ていた。レプリカで、本物は嚴重にである。それでも、見たこともない蹲居を題材に話をすることに、レプリカとは言え、少しだけ『足るを知った』体験であった。

ししおどしから水がかし、この蹲居はレ保管されているそう

さて、かぐめよし少年自然の家が指定管理となって4年5ヵ月が経つ。来年に向けて『吾、唯だ、足るを、知る』を胸に、45歳の少年自然の家の心身を磨き、子どもたちの輝く瞳を迎えよう。

## かぐめよしに遊びに来てくださいネ！☆



# 頂吉図鑑 ～第9回～

## 茗荷(ミョウガ)



今回ご紹介するのは茗荷（ミョウガ）です。ミョウガは薬味としてお店に売られていますから、皆さんよくご存知とは思いますが、意外に知られていないのが「可食部はどの部分なのか」「どのように生えているのか」ということです。食べるのは花が咲く前の花穂（蕾（ツボミ）がいくつか入ってます）です。花というと茎の先につくのをイメージされるかもしれませんが、地面からいきなりニョキッと出てきます。（地面の中に茎があり、その先に花がついているので）

昔からミョウガを食べると物忘れをするという言い伝えがありますが、これはお釈迦様の弟子に自分の名前ですら、なかなか覚えられない人がいて、忘れないように名荷（ミョウガ、名札）を首にかけていたところ、名札をかけていたことを忘れてしまった。この名荷と茗荷をかけたからとか、この人が亡くなって、そのお墓にミョウガが生えてきたから、だとか云われています。

ミョウガは実を結ぶことがほとんどなく、地下茎で増えます。なので生えている場所は、人里近くです。もし山の中で見かけたら、昔は人が住んでいたのだろうと推測できます。

かぐめよしでは、ヤブミョウガ、ハナミョウガとミョウガと名のつく植物が他にも観察出来ます。興味がある方は是非お越しください。

## 主催事業のお知らせ！ -10月から12月-



	事業名	時期	対象者・人数
10月	陶芸教室	①10/9(日)～10(月)成形 ②11/6(日) 釉薬づけ	対象：小中学生とその保護者 定員：20名
	秋の福智山登山	10/23(日) 日帰り	対象：小中学生とその保護者 定員：30名
12月	石窯ピザとリースづくり	12/3(土)～12/4(日)1泊2日	対象：小中学生とその保護者 定員：20名
	ぺったんぺったんお餅つき	12/17(土)～18(日)1泊2日	対象：小中学生とその保護者 定員：20名

### 応募方法

ハガキに参加される方の住所、氏名、年齢(保険加入に必要)、催し名を書いてかぐめよし少年自然の家宛にお送りください。

なにかご不明な点がございましたら遠慮なくご連絡ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております！♪

詳細につきましては、市政だよりに掲載いたします。

### 北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所：〒803-0267 北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話：(093)451-3111 fax：(093)451-3133

ホームページ：<http://www.kagumeyoshi.com/>

